

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	256	科目名	生物総合評価管理学特論4	サブネーム	動物と人の関係学～動物から人へのメッセージ	
連携機関名	日本獣医師会	レベル	基礎～中級	講義枠	金	講義時間 18:30～20:00
科目概要(300字)	地球上の野生動物、飼育動物と人との距離は急速に接近し、動物から人へ感染する病気のリスクも高くなって来ている。しかし、動物と人との関係は、もはや切り離すことのできない相互依存関係になってきており、動物に対する正確な知識は欠かすことが出来ない。また、増加しつつある伴侶動物が人にとってどのような存在であるのか動物の視点から受講者と一緒に考えてみる。					

サブタイトル	講義名	講義概要(150字)	講義日	教室	講師名	所属		
共通感染症	1 共通感染症概論	感染症の原因は主として、細菌、リケッチア、ウイルス、原虫、プリオンがある。これらの病原微生物の発育形態を概説し、人と動物の共通感染症について紹介する。	9月29日	1号館204	本多 英一	東京農工大学		
	2 インフルエンザとBSE	近年世界中で流行して問題になった鳥インフルエンザ(ウイルス病)とBSE(プリオン病)の病原体とその病気について解説する。	10月6日					
	3 細菌	細菌によっておこる動物と人の共通感染症について、炭疽菌、食中毒のサルモネラ菌等を中心に紹介する	10月13日				澤田 拓士	日本獣医畜産大学
	4 細菌以外の病原体	リケッチア、原虫、寄生虫によって起こる病気について、その病原体を紹介する。	10月20日					
	5 狂犬病	ウイルスが原因で発症する狂犬病は、日本では発生がなくなったが、海外では発生頻度の高い病気、人にも感染することから、航空機による人の移動が活発化するに従いリスクが高くなってきている。	10月27日					
	6 海外伝染病事情	現在のところ日本で発生はないが、発生すると経済的に多大の経済的損失が発声する口蹄疫、豚コレラ、牛疫、アフリカ豚コレラについて説明する。	11月17日				福所 秋雄	日本獣医畜産大学
動物と人の関係	7 動物と残留薬物	食用動物の飼育に用いられている薬物と残留薬物について解説する。	11月24日		下田 実	東京農工大学		
	8 動物の存在と心の健康教育	動物を飼う事で「人の心」はどう変わるのか、また、学校飼育動物を通して子供達は何を学ぶかを解説する。	12月1日		田谷一善			
	9 動物介在療法	人の一部の病気の治療には動物を介在させることで効果が見られることがあり、アニマルセラピーとして認知されている。このアニマルセラピーについて紹介する。	12月8日		横山 章光	帝京科学大学		
	10 ホースセラピー	馬を通して人の病気の治療の一助にする試みが行われており、このホースセラピーについて紹介する。	12月15日		局 博一	東京大学		
	11 動物の行動学	動物の行動や習性を理解し、動物とのよりよい関係を築くにはどうしたら良いか紹介する。	12月22日		武内 ゆかり			
	12 伴侶動物の病気	伴侶動物の生活習慣病や、日常の症状から病気かどうかをどう判断するか臨床獣医師の立場から紹介し、併せて人への感染の可能性を解説する。	1月12日		岩崎 利郎	東京農工大学		
	13 伴侶動物のターミナルケアとペットロス	伴侶動物は飼育条件が良くなり長命になってきているが、その終末を迎えるに当たりどのような心構えが必要なのか、臨床獣医師の立場から解説する。	1月26日		鷺巣 月美	日本獣医畜産大学		
	14 野生動物と人間社会	人間活動の拡大によって動物の生息圏が狭められつつあり、野生動物と人の生活圏の調和をどのようにとるか重要な課題となってきている。野生動物と人の共存について解説する。	2月2日		羽山 伸一			
	15 総合討論	受講者は新聞記事から「人と動物の関係」に関する記事を選び、その内容から問題提起をもらい総合討論をする。	2月9日		神田尚俊 ほか講師複数参加	東京農工大学		